

【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を実施

- 天塩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組として、天塩川上流水防連絡協議会名寄地方部会を開催し、「流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有」を実施した。
- 名寄河川事務所から、平成28度出水報告や、河川情報及び浸水想定区域図の公表、災害対策用機械の要請方法、災害支援の取り組み、水防法の一部改正、重要水防箇所及び防災訓練等の情報提供を行った。また、旭川地方気象台より、防災気象情報の改善など情報共有を行い連携を図った。

実施日：平成29年5月31日（水）

場所：名寄市駅前交流プラザ「よろーな」
（名寄市東1条南7丁目1番地10）

参加機関：流域市町村（士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町）、消防署、警察署、旭川地方気象台、旭川建設管理部、JR北海道及び旭川開発建設部

参加人数：38名

実施内容：平成28度出水報告、河川情報及び浸水想定区域図の公表、災害対策用機械の要請方法、重要水防箇所及び防災訓練等の情報提供を実施。



天塩川上流水防連絡協議会名寄地方部会開催状況

【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練 (DIG訓練) 等、水防災に関する訓練・講習会の実施

- 天塩川水系名寄川における豪雨災害による氾濫を想定した防災訓練を、名寄市の主催により実施。
- 浸水リスクの高い地区における避難の課題、「気づき」による地区住民の避難能力向上及び浸水想定を理解を深めることを目的に、名寄市を主体とし関係機関の情報共有、名寄市内の5町内会の住民による避難訓練を実施。また、避難訓練後に、住民自ら「避難」における問題点等の課題発表を行った。(行動するDIG⇒「FIG-a」として実施)
- 「FIG-a 課題を見つける避難訓練」は、想定される最大規模の降雨による浸水想定区域図に基づき実施。
- 訓練に参加した一般住民より、「町内会としても自主的に避難できる態勢を整えたい」との感想を得た。

訓練名： FIG-a 「課題を見つける避難訓練」

実施日：平成29年7月19日(水)

場所：名寄市役所、上川北部地域人材開発センター

参加機関：名寄市、旭川地方気象台、旭川開発建設部名寄河川事務所、北海道警察旭川方面本部、名寄警察署、名寄消防署、日本赤十字北海道支部名寄赤十字奉仕団、エフエムなよろ、北海道地域防災マスター

参加人数：約150名(名寄市民約70名、関係機関約80名)

実施内容：災害対策本部訓練、住民避難訓練、垂直避難行動展示、防災講話、住民による避難課題発表、緊急速報メール・緊急告知ラジオ・FM放送(臨時災害放送局想定)による割り込み放送、緊急速報メール



災害対策本部訓練



名寄河川事務所からのホットライン



住民避難訓練・浸水想定の説明



住民による避難課題発表

【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施

- 「防災・科学」をテーマとした「なよろ夏休み防災科学スクール2017」を、名寄市の主催により実施。
- 東日本大震災で被災した福島県南相馬市の児童10名を迎え、名寄市内の児童5名とともに、名寄市防災セミナー「確実な避難のための防災セミナー」への参加及び旭川地方気象台の見学を通して、防災に対する理解及び知識を高めるための取組を実施した。
- 名寄市は天塩川及び名寄川、南相馬市は新田川が流れていることから水害を共通課題としたほか、防災について広い範囲の視点を持てるよう双方の児童が参加した。

取組名：なよろ夏休み防災科学スクール2017

実施日：平成29年8月1日(火)～3日(木)

場所：旭川地方気象台(旭川市)
名寄市グランドホテル藤花(名寄市)

参加機関：名寄市、旭川地方気象台、旭川開発建設部名寄河川事務所

参加人数：15名

実施内容：名寄市防災セミナー「確実な避難のための防災セミナー」(防災ゲーム、図上訓練、防災講話)
気象台見学会(防災ミニ講座、気象予報機器の見学、アメダス観測装置の見学)



確実な避難のための防災セミナー



防災ゲームで課題発表



旭川地方気象台を訪問し、気象予報機器の見学



アメダス観測装置の見学、学習



旭川市科学館の前で記念撮影



福島県南相馬市

【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練 (DIG訓練) 等、水防災に関する訓練・講習会の実施

- 天塩川における豪雨災害等に対する確実な避難のための市民向け防災セミナーを名寄市の主催により実施。
- 名寄市民を対象として、想定される最大規模の浸水想定区域図の解説や豪雨災害に対する確実な避難の為のポイントについて旭川開発建設部及び旭川地方気象台から説明を行ったほか、東日本大震災で被災した福島県南相馬市の被災状況や現在の復興状況、防災・避難対策等について、南相馬市から説明を行った。また、防災ゲーム・図上訓練として避難時における携行品について参加者によるグループ討議・発表を行った。
- 本セミナーには、名寄市内及び南相馬市の小学生も参加し、避難のために必要な事項について学習した。

実施日：平成29年8月2日（水）

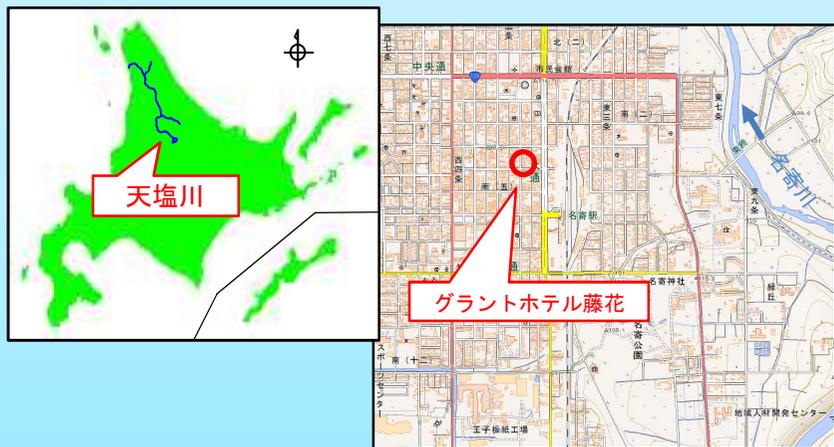
場所：グランドホテル藤花（北海道名寄市）

参加機関：名寄市、福島県南相馬市、旭川地方気象台
旭川開発建設部名寄河川事務所、
北海道地域防災マスター

参加人数：約110名

（名寄市民等約90名、関係機関約20名）

実施内容：防災講話（南相馬市、旭川開発建設部名寄河川事務所、旭川地方気象台）、
防災ゲーム・図上訓練、非常食の配給



会場の状況



浸水想定区域図について説明



確実な避難のためのポイントについて説明



参加者によるグループ討議



討議結果の発表



小学生も討議に参加。発表しました。

【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施

- 天塩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、流下能力が低い区間や水衝部等の水害リスクの高い箇所について、水防活動の効率化及び水防体制の強化を目的に、自治体等と共同点検を実施。
- 自治体等と連携して今後も継続的に実施。

実施日：平成29年8月23日（水）・25日（金）

場所：天塩川流域各所

参加機関：土別市、名寄市、下川町、美深町、
音威子府村、中川町
土別消防署、名寄消防署、下川消防署、
美深消防署、中川消防署、
土別警察署、名寄警察署、美深警察署
旭川開発建設部名寄河川事務所

参加人数：約30名

実施内容：共同点検



名寄市(8月23日)



下川町(8月23日)



土別市(8月23日)



美深町(8月25日)



音威子府村(8月25日)



中川町(8月25日)

【北海道】天塩川上流の減災に関する取組の実施状況

小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施

- 天塩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、防災教育(出前講座)を実施。
- 和寒町立和寒小学校4・5年生が川に係わる災害について学ぶことを目的とし、体験プログラムや学習会を通して災害時の危険な状況から身を守る方法を学習することで、日常生活の様々な場面で安全な行動ができるようになることを目指す。

実施日：平成28年9月9日(金)

場所：和寒町立和寒小学校
(北海道上川郡和寒町字北町42番地)

参加機関：和寒町立和寒小学校

参加人数：51人(4年生28人、5年生23人)

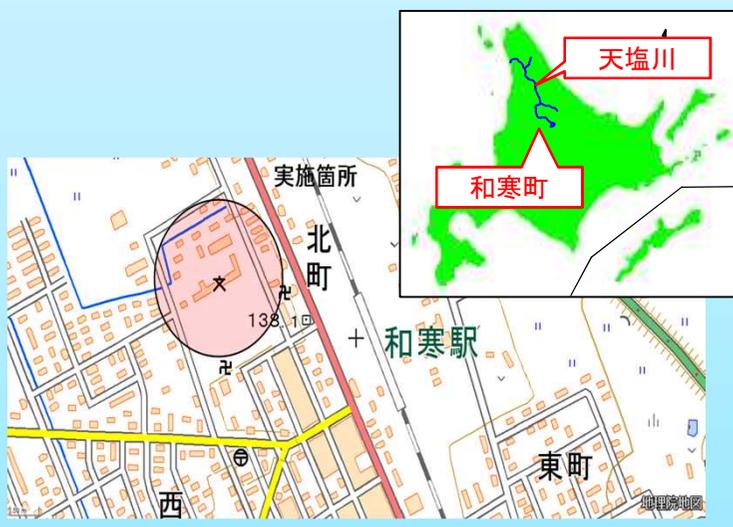
実施内容：大雨についての講義、降雨体験、流水体験、地下浸水体験、川の模型実験など



川の模型を見ながら説明を受ける児童



流水体験を受ける児童



降雨体験を受ける児童



講師が川の安全対策について説明